12月 にこにこ通信

令和２年１２月１日
別府保育所地域子育て支援センター（別支）
058－326－2525
牛牧第2保育所地域子育て支援センター（牛支）
058－326－1515

11月より始まった「元気っこタイム」では、「音楽に合わせて体を動かすのは久しぶり！楽しかった。」という声が聞かれました。短い時間で、密にならないよう距離をとりながらの遊びですが、みんなと一緒にできることの心地よさや楽しさが感じられたように思います。

瑞穂市立地域子育て支援センターでは、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、利用人数や時間に制限を設け、事業内容を変更して開催しています。この時期は、インフルエンザなどの感染症が流行する時期でもあります。生活リズムを崩さず、お子さんの顔色や機嫌など少しの変化にも注意しましょう。

≪支援センター情報≫

現在、別府保育所地域子育て支援センター、牛牧第2保育所地域子育て支援センターは開所していますが、今後の感染症の状況に応じて、臨時閉所や利用人数や事業内容が変更する場合があります。ご理解・ご協力をお願いします。（HP・ままフレ、広報などでご確認ください）

≪利用時間・人数≫

【施設開放時間】:要予約
１回目　10:00～11:30
２回目　13:00～14:30
別支:各回 10 組まで
牛支:各回　6組まで

【子育て相談】
来所でも電話でも可
10:00～15:00
＊来所の場合は、事前に電話連絡をしてください

≪予約の申し込み方法≫

【予約・キャンセル受付時間】
9:30～15:00（平日）

【予約方法】
・電話予約のみ
・利用希望日の前日又は当日に１回分の予約受付可。（希望日が週の最初の平日の場合は、前の週の平日の最終日と希望日当日）

12月の行事

（詳しい内容は、直接電話などでお尋ねください）

≪栄養士・保健師来所≫

別支・・・　9日（水）10時～12時まで
牛支・・・18日（金）10時～12時まで
○栄養士と保健師が来所します。子育てについてお気軽に相談ください。

≪おもちゃ病院≫　無料・予約不要

別支・・・12月11日（金）10:00～12:00
牛支・・・12月24日（木）10:00～12:00
○壊れたおもちゃをボランティアのかたが無料で修理してくださいます。お気軽にお持ちください
○感染予防の為、玩具はお預かりして、翌月のお返しとなります。ご了承ください
○おもちゃ病院の予約は不要ですが、そのままセンターで遊ぶことはできません。センター利用の場合は事前予約をしてください

≪げんきっこタイム≫　毎日

お帰り前のほんの少しの時間ですが・・・・・
○体操　・ふれあい遊び・手遊びなど
体を動かして遊びます

≪子育てセミナー≫

牛支・・・8日（火）
内容:「親子でマイバック作り」
～僕・私だけのバックを作ってみよう～
時間:10時30分～11時30分
対象:未就園児親子　先着6組　託児なし

別支・・・17日（木）
内容:「親子でカレンダー作り」
～手形アートに挑戦だ～
時間:10時30分～11時30分
対象:　未就園児親子　先着10組　託児なし

牛支・別支
申込:12月2日（水）～4日（金）
電話予約のみ（9:30～15:00）
各センターへ直接申込

★8日、17日のセンター利用について
10:00～11:30・・・セミナー予約申込者のみ
13:00～14:30・・・一般利用予約申込者

おしらせ

年末年始のセンター閉所について

12月29日（火）～1月3日（日）の間閉所となります。
１月４日（月）の予約申し込みは１２月２８日（月）と１月４日（月）になります。
お間違えのないようにお願いします。

1月の予定

子育てセミナー
○牛支・・・20日（水）10:30～11:30
「身近な廃材で楽器作り」
～叩いて、振って♪♪♪～
○別支・・・22日（金）10:30～11:30
「ほっこり・あったか雪だるま作り」
～LEDライトを点灯すると～
（詳細は1月号の広報・通信にて）

子育ての悩み　スッキリ解決！

「子どもがよく熱を出す…」「よく病気になる」…私（母）の子育てが悪いのかしら～

子どもは病気にかかるもの。決してお母さんのせいではありません。

子どもが病気になった時、親御さんがいちばん悩むのが「自分のせいではないか」ということです。どうしても子どもが病気になると、親は自分を責めてしまいます。「あの時、すぐに服を着せなかったから～」「布団を蹴飛ばしていたのにすぐに気づいてやらなかったから～」「早く薬を飲ませれば、こんなことにならなかったのに～」子どもが、病気になったのは自分のせいだと思って、落ち込んでしまうのです。しかし、子どもは病気をするもの。病気をしながら、免疫力を獲得していくわけだし健康のありがたみもわかります。それと、*子ども側からすると、病気になるのって辛い反面、意外とうれしいこともあるのです。*

病気の時は、お母さんは優しい！

いつもきょうだいとお母さんの取り合いだけど、病気の時は独り占め！

お母さんがずーっと一緒にいてくれる

子どもが病気にかかったら、子どもとの心の絆をもう一度強めるチャンスなんだ！と考えてみてはどうでしょう。
（「子育てハッピーアドバイス」著　明橋大二　一部抜粋）